



朝一小だより

活気と潤いがあり、みんなが「育つ」学校

学校教育目標

- ・考える子
- ・やさしい子
- ・たくましい子



朝霞市立朝霞第一小学校

令和3年7月20日

児童数 587名

校長 野口 邦彦

TEL048-461-0052 <http://www.asakadailshou.city-asaka.ed.jp/>

長い「夏休み」が戻ってきました この40日間をどう使うか

校長 野口 邦彦

1学期が終了しました。本日、通知表が配られますが、通知表の内容はあくまでもお子さんの一部分であって、本当の評価はお子さん自身が「(とても)がんばったのか、もしくは、(もう少し)がんばれたのか」どう感じているかだと思います。今学期がどうであったのか、ぜひ、お子さんと振り返る機会をつくっていただければと思います。

さて、思い起こせば、昨年度は4・5月が臨時休校、それに伴い1学期も7月末まで、2学期の開始も8月21日からと、とても短い夏休みでした。今年度の夏休みは例年通り、7月21日から始まり8月29日までの、40日間という長い休みとなります。この40日間という長い休みをどう使うのか、子ども達の「育つ」において、とても大きな意味を持っていると思います。



ここで、「夏休み」とは、どんな意味を持っているか、なぜ重要なのかを考えてみたいと思います。



まず、一つ目は「**時間割のない生活**」という事です。学校生活では、1時間目「国語」2時間目「体育」そして20分間の休憩を入れて3時間目と、時間割が決まっています。しかし、夏休みは「どこで何を勉強するのか」「どこで休憩するのか」「どこで自分の楽しみをつくるのか」など、どんな時間割にしていくかは、すべて自分で決めなければいけません。長いと思っている40日間も、あっという間に過ぎていきます。どんな40日間にしたいのか、そのために、どんな1週間にしたいのか、そして、どんな1日にしたいのか、それを自分なりにつくれるのが夏休みです。

2つ目は「**チャイムのない生活**」という事です。学校にはチャイムがあります。だから、無意識に、それに従いながら生活をしています。しかし、夏休みにはチャイムがありません。どこで、どんなチャイムを鳴らすのか(切り替えるのか)それも自分次第です。

「時間割のない生活」「チャイムのない生活」いずれも、「**自分次第**」という事です。誰から言われるわけではなく、何に従う訳でもなく、「自分自身で作っていく40日間」だからこそ、有意義に使えれば、学校生活以上に、大いに飛躍する(成長する)のが夏休みです。しかしながら、そこは小学生という事もあり、何でも「自分からやるか」と言えば、難しいのも事実です。そういった時には、さりげなく保護者の方で激励やサポートをしてあげてほしいと思います。ポイントは、色々な人の手助けやサポートはされても、あくまで「**自分でやった(やりきった)**」という感覚です。長い夏休み、そして、大切な夏休み、ぜひお子さん自身の「育つ」につなげて行ってほしいと思います。

タブレットを、有意義な夏休みにするためのツールに

今年度から始まりました「GIGAスクール構想」、児童一人に一台タブレットが渡され、1学期も様々な授業で使い始めました。そのタブレットを、夏休みは家庭に持ち帰ります。学校からも「タブレットの使用上の約束事」や「タブレットを使った課題」が出されると思いますが、基本的には、タブレットの使い方を親子でよく話し合って有効に活用してほしいと思います。その話し合う土台として、①自分のものではなく、朝霞市から借りているものであるという事。②だからこそ、大切に使うという事。③使う上では無料ではなく、通信料などお金がかかるという事。④学習のみに使うという事などです。学校から配られた「タブレット使用のルール」をもう一度、親子で確認していただき、使い方を親子で考え、子ども達が「育つ」ツールとして、有効に活用していただければと思います。

